

15章 左官工事

15.6.6
工

法

(9) 外装厚塗材 Si 及び外装厚塗材 E は、次による。

分 類	S K K 該 当 製 品
外装厚塗材 Si	該当なし
外装厚塗材 E	シボロック、ソフトスタック、セラミソフトスタック

- (ア) 材料の練混ぜは、仕上塗材の製造所の指定する水の量で均一になるように行う。ただし、溶剤系の下塗材の場合は、仕上塗材の製造所の指定する量の専用薄め液で均一になるように行う。
- (イ) 下塗りは、だれ、塗残しのないように均一に塗り付ける。
- (ウ) 主材塗りは、次による。
- (a) 吹付けの場合は、次による。
- ① 基層塗りと模様塗りの2回とする。
 - ② 基層塗りは、だれ、ピンホール及び塗残しのないよう下地を覆うように塗り付ける。
 - ③ 模様塗りは、見本と同様の模様で均一に仕上がるように、仕上塗材の製造所の指定する吹付け条件により吹き付ける。
 - ④ 凸部処理は、模様塗りの後に、見本塗板と同様の模様になるように、こて又はローラーにより押さえる。
- (エ) 上塗材を用いる場合は、上塗りは、2回塗りとし、色むら、だれ、光沢むら等が生じないように均一に、はけ、ローラー又はスプレーガンにより塗り付ける。

外装厚塗材 E (吹放し、凸部処理/吹付け) [硬質]

シボロック

種 類	呼 び 名	仕上 の形状	工 法	工 程	S K K 該 当 製 品	所 要 量 (kg/m ²)	塗 り 回 数
厚付け 仕上塗材	外装厚塗材 E	吹放し 凸部処理	吹付け	下塗材(注)1	S K K クリヤーシーラー★	0.10~0.13	1
				主材基層	シボロック★	1.5~2.0	1
				主材模様	シボロック★	3.5~4.5	1
				上塗材(注)2	ブリーズコート★	0.40~0.50	2

- (注) 1. 下地の種類に応じて適切な下塗材を選択してください。なお、押出成形セメント板、GRC板、プレキャストコンクリートなどには、下塗材として「ミラクシーラー-EPO★」「マイルドシーラー-EPO★」「エスケーハイブリッドシーラー-EPO★」をご使用ください。
2. 適用は特記による。
3. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
4. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

15章 左官工事

使用可能な下地調整塗材

下地	下地調整塗材	SKK該当製品	備考(注)2
コンクリート	—	—	下地調整塗材は省略可
モルタル、プaster	仕上塗材の下塗材で代用	SKクリヤーシーラー★ 水性ミラクシーラーエコ★	仕上塗材の下塗材省略可
プレキャスト コンクリート	仕上塗材の下塗材で代用	ミラクシーラーEPO★ マイルドシーラーEPO★ エスケーハイブリッドシーラーEPO★	仕上塗材の下塗材省略可
ALCパネル	合成樹脂エマルジョンシーラー (下地調整塗材Eで代用可)	水性ミラクシーラーエコ★	—
	下地調整塗材C-1	ミラクファンドKC-1000★	—
	下地調整塗材E	SFアンダー★	—
押出成形セメント板	反応硬化形成樹脂シーラー 及び弱溶剤形成樹脂シーラー	ミラクシーラーEPO★ マイルドシーラーEPO★ エスケーハイブリッドシーラーEPO★	仕上塗材の下塗材省略可

- (注)1. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
2. 備考欄が「—」のものは、下地調整塗材を塗付後に、必ず仕上塗材の下塗材を塗付してください。

外装厚塗材E(吹放し、凸部処理/吹付け)[弾性]

ソフトスタック(汎用)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	SKK該当製品	所要量(kg/m ²)	塗り回数
厚付け 仕上塗材	外装厚塗材E	吹放し 凸部処理	吹付け	下塗材(注)1	水性ミラクシーラーエコ★(注)2	0.10~0.13	1
				主材基層	ソフトスタック★	1.5~2.0	1
				主材模様	ソフトスタック★	2.0~2.5	1

セラミソフトスタック(低汚染・高耐久)

種類	呼び名	仕上げの形状	工法	工程	SKK該当製品	所要量(kg/m ²)	塗り回数
厚付け 仕上塗材	外装厚塗材E	吹放し 凸部処理	吹付け	下塗材(注)1	水性ミラクシーラーエコ★(注)2	0.10~0.13	1
				主材基層	セラミソフトスタック★	1.5~2.0	1
				主材模様	セラミソフトスタック★	2.0~2.5	1

- (注)1. 下地の種類に応じて適切な下塗材を選択してください。なお、押出成形セメント板、GRC板、プレキャストコンクリートなどには、下塗材として「ミラクシーラーEPO★」「エスケーハイブリッドシーラーEPO★」をご使用ください。
2. クリヤータイプとホワイトタイプがあります。
3. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
4. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。

使用可能な下地調整塗材

下地	下地調整塗材	SKK該当製品	備考(注)2
コンクリート	—	—	下地調整塗材は省略可
モルタル、プaster	仕上塗材の下塗材で代用	水性ミラクシーラーエコ★	仕上塗材の下塗材省略可
プレキャスト コンクリート	仕上塗材の下塗材で代用	ミラクシーラーEPO★ エスケーハイブリッドシーラーEPO★	仕上塗材の下塗材省略可
ALCパネル	合成樹脂エマルジョンシーラー (下地調整塗材Eで代用可)	水性ミラクシーラーエコ★	—
	下地調整塗材C-1	ミラクファンドKC-1000★	—
	下地調整塗材E	SFアンダー★	—
押出成形セメント板	反応硬化形成樹脂シーラー 及び弱溶剤形成樹脂シーラー	ミラクシーラーEPO★ エスケーハイブリッドシーラーEPO★	仕上塗材の下塗材省略可

- (注)1. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。
2. 備考欄が「—」のものは、下地調整塗材を塗付後に、必ず仕上塗材の下塗材を塗付してください。